

運動・感覚

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- ・姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用
- ・身体の移動能力の向上
- ・保有する感覚の活用
- ・感覚の特性への対応など

人間関係 社会性

- ・情緒の安定
- ・遊びを通じた社会性の発達
- ・仲間つくりと集団への参加
- ・自己理解と行動の調整など

安全・安心で自分らしく過ごせる居場所を提供できるよう、お子さまとの接し方や集団行動の内容などを考えています。

また、お子さま同士でやり取りをして、相手の気持ちや意図などを理解できるよう、場面に応じて声掛け支援なども行っています。プログラムでは、職員と一緒に入り、お子さまと一緒にすることでルールの理解や役割分担などの社会性につながる支援を心掛けています。また、外出プログラムを取り入れ、外に外出した際のルールやマナーの理解につながるよう、支援を行っています。

健康・生活

- ・健康状態の維持・改善
- ・生活習慣や生活リズムの形成
- ・基本的な生活スキルの獲得
- ・生活におけるマネジメントの育成など

認知・行動

- ・認知の特性についての理解と対応
- ・行動障害への予防及び対応
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得など

学習の時間などには、座る姿勢や机に向かう姿勢にも注目し、姿勢が崩れてしまった際には声掛けをするなど、正しい姿勢がとれるよう支援を行っています。正しく鉛筆が持てているかなど必要に応じて補助用具などの使用も行っています。

また、プログラムに公園への外出も組み込み、筋力の維持・強化も図っています。冬場の寒さにも負けないように外での活動は取り込むようにしています。健康状態の維持の面も含めて、積極的に体を動かす機会を取り込んでいます。

悪天候で外出ができない際でも、室内で行える内容を考え、支援をしています。

感覚の特性にも注意し、環境の整備、内容の整備にも配慮をしています。

一人一人の特性に応じて、環境の整備をし、お子さまに合わせた支援ができるよう、PDCAサイクルで日ごろから見直しを行っています。癇癢をおこしてしまうお子さまに対しては、その原因を追究し、ストレスにならないように環境の整備を行っています。食事の提供を行い、偏食等に対する支援も行います。場面に応じた道具の使い方などがわかるように、食事の場面や工作などのプログラムを介して、理解や判断につながるよう支援をしています。

始まりの会と終わりの会では、利用者さんに日直さんをやってもらい、挨拶をひとりひとりにやっていただいています。いろいろな人との関われるいい機会なので、職員からの挨拶ではなく、お子さま同士での挨拶を意識しています。読み書きの能力の向上のため、学習の時間に課題を設定し、お子さまの特性に合わせて支援を行っています。また、職員がプログラムに参加し、直接、職員とお子さまが関わりを持つことで、コミュニケーション能力の向上を目指しています。

言語 コミュニケーション

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・言語の形成と活用
- ・コミュニケーション手段の選択と活用
- ・読み書き能力の向上など

施設に到着したら、まずはトイレと検温をし、始まりの会を行います。健康状態の確認にはまず検温。体温が高いなどの異常があった場合には、別室での対応などをいたします。こもり熱があるお子さまには、一定時間の経過後に再検温するなどの対策をして、健康状態の維持に役立てています。土曜日、祝日などの一日過ごす時間では、食事の提供を行い、栄養面からの支援も行います。大きなイベントの日には、バイキング形式で食事を楽しむなど、食事の時間が楽しいものとなるよう支援を行っています。排泄支援に関しては、一定時間で声をかけ、トイレでの排泄の成功体験を積み、時間の感覚を伸ばしていけるよう、自分からの排泄へつなげていけるよう支援をしています。また、お友達からの視線が届かないように、活動の部屋から死角にあるトイレを使用するなど、環境においても注意を払っています。

～放課後等デイサービス～